

社外重役

Selected Clients & Professionals Relationship

発行)株式会社ノースアイランド
 東京本社)東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル10F
 Tel.03-3216-2004 Fax.03-3216-0439
 大阪支社)大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル9F
 Tel.06-6448-2004 Fax.06-6448-0539

F P

30歳代、50歳代の男女、資産に不満 内閣府調査 生活ぶりは「横ばい」

内閣府が定期的に行う「国民生活に関する世論調査」は、個人の生活の満足度を満足と不満足に分けて性別・年齢別に指数で表す、非常に分かりやすい調査。「今後の生活で何に力を入れるか」の質問では「所得・収入を伸ばす」(34.3%)、「資産・貯蓄に励む」(33.4%)が高く、2.0ポイントと3.0ポイント伸びて過去最高になった。しかし、細かく見ると性別・年齢差で明暗が分かれており、特に男女とも壮年層に不満が強い。

<所得・収入>に対する満足度では、「満足」とする者の割合は女性が高く、「不満」の割合は男性が高くなっている。

年齢別では60歳代で「不満」の割合が高い。性・年齢別に見ると「満足」の割合は女性の20歳代、70歳以上で高い。60歳代男性で「不満」が高いのは仕事や年金への不安が主因だろうか。

次に<資産・貯蓄>に対する満足度を年齢別に見ると「満足」の割合は60歳代、70歳以上で、「不満」の割合は30歳代、50歳代で高い。

これを性・年齢別に見ると、「満足」の割合は男性の70歳以上、女性の60歳代、70歳以上で、「不満」の割合は男性の30歳代、50歳代、女性の30歳代、40歳代で高くなっている。

職業別で「満足」派は管理・専門技術・事務職で、「不満」派は販売・サービス・保安職、生産・輸送・建設・労務職。生活ぶりは前年比で、やや低下の「横ばい」と答えている。

税務会計

13年分民間平均給与は3年ぶり増加 前年に比べ1.4%増の413万6千円

2013年1年間を通して民間企業に勤めた給与所得者の平均給与は413万6千円で、前年に比べ1.4%(5万6千円)増加したことが、国税庁が発表した2013年分民間給与の実態統計調査で分かった。平均給与は3年ぶりの増加。

調査結果によると、2013年12月31日現在の給与所得者数は、前年に比べ2.1%(113万3千人)増加の5535万4千人だった。そのうち、1年を通じて勤務した給与所得者数は、前年比2.0%増の4645万4千人(正規3055万6千人、非正規1039万7千人)で過去最多となった。

その平均給与413万6千円の内訳は、平均給料・手当が同1.1%増の352万7千円と3年ぶりの増加、賞与は同3.2%増の60万9千円と2年ぶりの増加。平均給料・手当に対する平均賞与の割合は前年から0.4ポイント増の17.3%となった。

男女別の平均給与は、男性が前年比1.9%増の511万3千円、女性が同1.4%増の271万5千円。正規、非正規別にみると、1人当たりの平均給与は、正規が同1.2%増の473万円と増えたが、非正規は同0.1%減の167万8千円と減った。

平均給与を業種別にみると、「電気・ガス・熱供給・水道業」が696万円と突出して最も高く、「金融業、保険業」の617万円、「情報通信業」の592万円が続き、最も低いのは「宿泊業、飲食サービス業」の233万円、「農林水産・鉱業」の289万円、「サービス業」の339万円となっている。

今週のキーワード

国民生活
世論調査

成人男女1万人、うち6,254人が有効回答。「日常生活に悩みや不安を感じている」人は66.7%で、ほぼ横ばい。そのうち「老後の生活設計」に不安があると答えた人は57.9%で、前年を2.6ポイント上回り過去最高だ。昨年と比べた生活ぶりは「同じようなもの」が72.9%で、前年から4.9ポイント下がった。生活が「低下している」は20.9%で4.1ポイント上がったが、これは消費増税の影響とみられる。

※配信先の変更、配信停止のご希望はお手数ですが Tel.03-3216-2004 または info@knowsi-land.jp までご連絡ください。